



敦賀湾の大パノラマ 杉津の眺望

敦賀市^{すいづ}杉津など

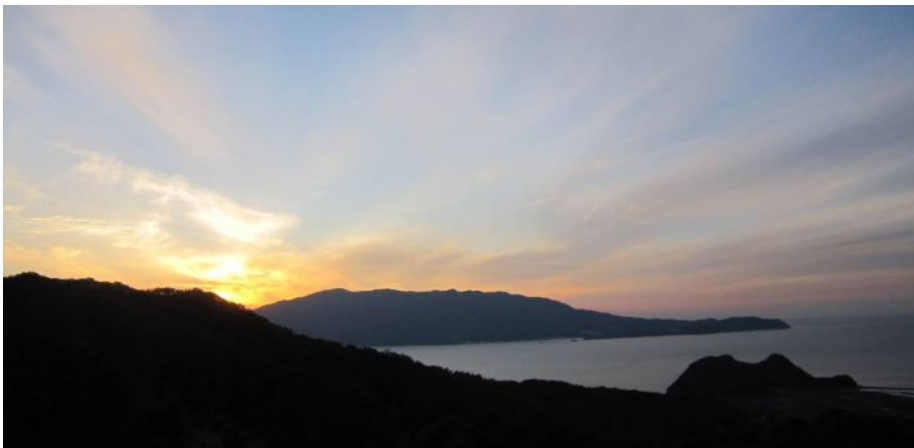
トンネルを越えて杉津に出ると、そこには青い宝石が広がっていた。大正天皇がお召し列車で見惚れた敦賀湾の眺めは、今も私たちの心をとらえて放さない。



北陸自動車道^{すいづ}杉津パーキングエリアからの眺望

杉津^{すいづ}パーキングエリアは、北陸本線旧線（昭和37年廃線）の杉津駅の跡地に建設されました。

杉津駅は、かつて「北陸線屈指の車窓風景」と車内アナウンスされたほどの景勝地であり、大正天皇を乗せたお召し列車が、その絶景に見惚れて暫く汽車の発車を遅らせたという逸話も残っており、杉津パーキングエリアからは、この逸話を思い起こさせるような素晴らしい景観を見ることができます。



夕闇迫る^{すいづ}杉津



山中峠^{すいづ}から杉津を望む



元比田^{もとひだ}のミカン畑^①



阿曽^{あそ}の棚田^②



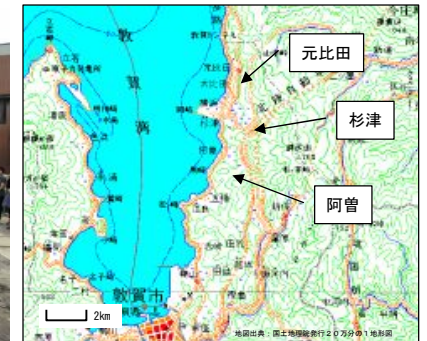
阿曽^{あそ}の棚田^③

敦賀はミカンができる北限地といわれ、地域の特産品として育てた東浦ミカンの畑を目にすることができます。また、近隣の阿曽^{あそ}地区に広がる棚田の風景などを見ていると、土地を大切にする地元の方の気持ちが伝わってきます。

阿曽^{あそ}地区の利棕八幡神社で毎年9月15日に行われる例祭にて、勇ましいかけ声とともに奉納される相撲甚句の踊りは、鎌倉時代から伝承され、江戸時代から途絶えることなく続いている伝統行事であり、謡われる相撲甚句は味わい深いものがあります。



阿曽^{あそ}の相撲甚句（県民俗文化財）^④



写真①～④は敦賀市提供